

平成22年度 事務事業評価

整理番号
24-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	03	01	01
細事業名		広報広聴事業				

担当部署	
担当課等	担当課長の氏名
秘書広報広聴課	木村 嘉充
	担当者の氏名
	木本 貴文

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市
	計画項目 (施策) ② 協働と共創のまちづくりの推進
	施策方針 2 広報広聴の充実
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 住民の意見を詳細に収集し、行政側の情報を的確に伝達することが必要であり、住民と行政をつなぐパイプ役として、住民との信頼関係を築く広報・広聴は必要不可欠である。市政や地域の情報を提供することにより、住民の市政参加を推進するものである。</p> <p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民の市政参加の促進、市民の要望・意見を適切に反映した市政の推進を図る</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「広報きょうたんご」(毎月)、「広報きょうたんごおしらせ版」(月2回)及び「京丹後市白書」の発行、防災行政無線やコミュニティFMの活用により市政情報の提供を積極的に行い、市民の市政参加に努めた ご意見箱の設置(市内8か所・ホームページ)により市民の要望・意見を反映した市政の推進に努めた 出前講座の開催(244回)により、行政施策や制度についての周知を図った 報道機関への積極的な市政情報提供を行い、開かれた市政運営に努めた
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市政情報を的確に伝達し、市民の市政参加を促進した 市民の要望・意見を適切に反映した市政の推進を図った

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	10	国庫支出金		
	9	30	府支出金		
	11	14,525	起債		
	12	259	分担金・負担金	広報郵送料負担金	60
	13	4,646	その他		
	18	363			
	19	34			
			一般財源		19,807
事業費合計		19,867	合計		19,867

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない) <p>広報紙や防災行政無線、コミュニティFMなどの多様な情報伝達手段がある中で、それぞれの特性に応じた効果的な活用を図り、市民ニーズに応じた市政情報を提供する必要がある 市政懇談会などを計画的かつ積極的に実施し、広聴機会を拡充する必要がある</p>
	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった <p>市と市民が相互に情報を発信し合い、強い信頼関係を築くため広報広聴事業は重要であり、一層の充実が求められる</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 <p>広報紙やコミュニティFMなど情報伝達手段としてのそれぞれの特性に応じた効果的な活用を図り、市民ニーズに応じた市政情報を提供する 市民の「声」を聞くための広聴機会の拡充を図るとともに、「ご意見箱」のあり方を見直す</p>
	<p>事業規模の方向性</p> <p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 <p>市政情報の共有化と市民の市政参加を促進するため、経費節減に努めながら、各種情報伝達手段を活用し、市民ニーズに対応した市政情報を広く市民に提供する広報事業を現状維持で継続し、また各種広聴活動を実施し、意見や要望等を適切に市政へ反映させるよう努める</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号
24-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	08	01	03
細事業名		市ホームページ運用管理事業				

担当部局	
担当課等	担当課長の氏名
秘書広報広聴課	木村 嘉充
	担当者の氏名
	松本 晃治

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	V パートナースhip都市
	計画項目 (施策)	② 協働と共創のまちづくりの推進
	施策方針	3 情報公開の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	市ホームページコンテンツ管理システム、プラズマディスプレイを活用し、市政・地域情報等を提供することにより、市民の利便性の向上や市民参画の推進を図るとともに、関係課と連携し市内外へ向けた地域情報や観光情報、防災・災害情報などの緊急情報を速やかに発信する。
	事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
		情報提供ツールとして定着させるとともに、更なる機能の充実・拡充を図る。

DO		
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	市ホームページコンテンツ管理システム、プラズマディスプレイ等を活用して、市内外へ向けた地域情報や観光情報、防災・災害情報などを配信し、利用者の利便性の向上や市民参画の推進を図ることができた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	市ホームページ年間アクセス件数(トップページ) 約114万アクセス 情報提供ツールとして十分機能を果たしている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	13	国庫支出金		
	11	21	府支出金		
	13	766	起債		
	14	878	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,678
事業費合計		1,678	合計		1,678

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	CMS(ホームページコンテンツ管理システム)の導入により、市内外へ向けた地域情報や観光情報、防災・災害情報などを迅速に発信するとともに、システムのチェック機能により、アクセシビリティの向上を図ることができた。
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)		
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	情報通信技術の進歩により、時代に応じた情報発信手法の見直しやツールの導入が必要な分野であり、市内外を問わず、今後ますます需要が高まると考えられるため、広報・広聴活動の充実にとって必要なサービスである。
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった		

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	情報通信技術の進歩により、時代に応じた情報発信手法の見直しが必要になるが、情報発信するツールとしては、継続して運用していく必要がある。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	社会環境、あるいは情報通信環境等の変化に応じた事業展開が必要なサービスである。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	01	03	01
細事業名		秘書事務				

担当部局	
担当課等	担当課長の氏名
秘書広報広聴課	木村 嘉充
	担当者の氏名
	平田 友美子

PLAN			
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	VII 計画推進のために	
	計画項目 (施策)	① 効率的な行財政運営の推進	
	施策方針		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	市長の業務を円滑に行うための必要経費	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
		市長業務・行政事務の円滑化	

DO		
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	市長の業務を円滑に行った
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	1,247	国庫支出金		
	11	736	府支出金		
	12	92	起債		
	14	161	分担金・負担金		
	19	1,568	その他		
			一般財源		3,804
事業費合計		3,804	合計		3,804

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	具体的な効果、数値効果を測ることが難しいところであるが、PLANの達成に向けて概ね出来ていると考える。
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)		
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要不可欠である
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった		

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由	市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要不可欠である
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	B	A 事業拡大	理由	市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要最小限の予算化しており、現状維持
	B 現状維持			
	C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-4

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 02	項 01	目 01	事業 03	細事業 02
	細事業名	渉外事務				

担当部局	
担当課等 秘書広報広聴課	担当課長の氏名 木村 嘉充
	担当者の氏名 平田 友美子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行財政運営の推進 施策方針
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	渉外業務を円滑に行うための必要経費
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	渉外業務を円滑に行った
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	0	財源内訳	国庫支出金	
	10	1,183		府支出金	
	11	140		起債	
	12	0		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	1,323	
事業費合計		1,323	合計		1,323

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 具体的効果、数値効果を測ることが難しいところであるが、PLANの達成に向けて概ね出来ていると考える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 具体的効果、数値効果を測ることが難しいところであるが、PLANの達成に向けて概ね出来ていると考える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 具体的効果、数値効果を測ることが難しいところであるが、PLANの達成に向けて概ね出来ていると考える。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要不可欠である</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要不可欠である	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要不可欠である			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要不可欠である
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 市長が行政事務の執行を円滑に行うため、必要最小限の予算化をしており、現状維持
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	01	08	01
細事業名		功労者表彰等事務				

担当部署	
担当課等	担当課長の氏名
秘書広報広聴課	木村 嘉充
	担当者の氏名
	平田 友美子

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	Ⅶ 計画推進のために
	計画項目 (施策)	① 効率的な行財政運営の推進
	施策方針	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 表彰を行うことでその功績を讃えるとともに、各界の更なる振興、まちづくりの活性化を図る	平成26年度 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市制施行前後に係る功労、功績も対象とし、市制5周年記念式典において、永年地方自治に携わった者、各界で著しい功績のあったもの、著しい善行を行った者を表彰した。 また名誉市民を選定し顕彰を行った。 名誉市民 1名 自治功労者表彰 19名、功績者表彰 37名、善行者表彰 3名
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	80	財源内訳	国庫支出金	
	8	1,176		府支出金	
	9	11		起債	
	11	155		分担金・負担金	
	12	29		その他	
事業費合計		1,451	一般財源		1,451
			合計		1,451

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 市制5周年記念式典において、表彰を行い、各界の更なる振興、まちづくりの活性化を図った。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 表彰を行うために必要最小限のコストであった。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 21年度は市制5周年に合わせて、表彰条例の特認規程を適用し、市制施行前後にかかる功労、功績も対象としたが、22年度は従前どおり、表彰を行う。 26年度は10周年を迎えるため、5周年と同様の取扱で表彰を行う。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	C 事業縮小	理由 21年度は市制5周年に合わせて、表彰条例の特認規程を適用し、市制施行前後にかかる功労、功績も対象としたが、22年度は従前どおり、表彰を行うため、事業を縮小する。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	01	10	01
細事業名		市制5周年記念式典				

担当部署	
担当課等	担当課長の氏名
秘書広報広聴課	木村 嘉充
	担当者の氏名
	平田 友美子

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	VII 計画推進のために
	計画項目 (施策)	① 効率的な行財政運営の推進
	施策方針	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市は、平成21年度に合併5周年を迎えるが、この節目を市民の皆さんと祝うとともに、京丹後市の益々の繁栄に向け記念式典等を実施する。	平成26年度 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
		市制10周年記念式典を行う。

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市制5周年記念式典を実施し、節目を市民の皆さんと祝うとともに、今後の新市の発展に向け決意を新たにしました。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 名誉市民1名、自治功労者19名、功労者37名、善行者3名を表彰した。 市の花と木を発表した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	0	国庫支出金		
	11	138	府支出金		
	12	99	起債		
	14	309	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		546
事業費合計		546	合計		546

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 表彰者60名・招待者800名を招き節目を祝うとともに、式典を通し今後の新市の発展に向け決意を新たにすることが出来た。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 式典を行うために必要最小限のコストであった。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 次回は10周年において式典を行う。ただし、平成22年度～25年度については実施をしないので事業は休止とする
	C B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 同規模の式典を10周年でも想定しているが、平成22年度～25年度については実施をしないので事業は縮小となる。
C B 現状維持		
C 事業縮小		